# 益田市介護労働実態調査

### 【事業者向け】

平成31年2月

益田市福祉環境部高齢者福祉課

#### 回答するにあたってお読みください

- 1. この調査は、施設・サービス事業所の施設長・管理者を対象とした調査です。
- 2. この調査票における職員の定義は次のとおりです。
  - 「介護職員」とは、各事業所・施設が、人員基準等に基づき配置する全ての介護職員(訪問介護員を含む)で、勤務時間の長短・他職種との兼務の有無は問わず、直接介護を行い賃金の支払いを受けている者を指します。
  - 「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による労働者を指します。
  - 「非正規職員」とは、正規職員以外の労働者を指します。
  - 「非正規職員」の「常勤労働者」とは、事業所の定める正規職員の所定労働時間と同じあるいはそれ以上時間を勤務する者を指し、「短時間労働者」は1日の所定労働時間、または、1週の所定労働時間が常勤労働者より少ない者(いわゆる登録へルパーも含む)を指します。
- 3. ご回答は、選択肢をお選びいただく場合と、数字等を具体的にご記入いただく場合がございます。
- 4. ご回答はいずれも、平成31年1月1日時点の状況でお答えください。
- 5. 設問または回答した選択肢によっては、一部の方だけに回答をお願いする設問があります。その場合は、説明文、矢印等に従ってお答えください。
- 6. 選択する数については、「1つ選択」または「あてはまるものすべて選択」等の案内が ありますので設問ごとの案内に従ってお答えください。
- 7. 選択肢の「その他」を選択した場合は具体的な内容を枠内にご記入ください。

(文字数の指定がない場合は、30字以内でご記入ください。)

- 8. この調査は、Web回答も可能です。内容はいずれも同じです。
  Web回答を希望される場合は、次のいずれかで回答ページにお進みください。
  - ・お手持ちのスマートフォン・パソコンに下記 URLを入力

https://s-kantan.jp/city-masuda-shimane-u/offer/offerList\_detail.action?tempSeq=5041

- ・スマートフォンからQRコードを読み取り
- ・益田市高齢者福祉課ホームページからアクセス
- 9. この調査についてのご質問は下記までお願いします。



〒698-8650 益田市常盤町1番1号 益田市福祉環境部高齢者福祉課 事業者指導係 TEL 31-0218 FAX 24-0181 1 貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 貴事業所の運営法人の種類は次のうちどれですか。 あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1. 民間企業 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. NPO (特定非営利活動法人)
- 5. その他( )
- 問2 貴事業所で実施する介護保険の指定介護サービス事業はどれですか。 あてはまるもの1つに○をしてください。
- 1. 訪問介護 2. 訪問入浴介護 3. 訪問看護 4. 通所リハビリテーション
- 5. 訪問リハビリテーション 6. (地域密着型) 通所介護 7. 認知症対応型通所介護
- 8. 小規模多機能型居宅介護 9. 認知症対応型共同生活介護 10. (地域密着型)特定
- 11. (地域密着型) 特養、老健、療養型、ショートステイ 12. 定期巡回サービス
- 問3 貴事業所の職種、就業形態別就労人数をご記入ください。

	正規職員		非正規職員				
職種	男女	+	男	+	勤務形態		
		<del>71</del>	女	常勤労働者	短時間労働者		
介護職員							
介護職員以外							

- 2 貴事業所の運営・雇用管理の状況についてお伺いします。
- 問4 貴事業所における従業者の過不足感についてお答えください。 あてはまるもの1つに○をしてください。
- 1. 大いに不足している 2. 不足している 3. やや不足している → 問5へ
- 4. 適当 5. 過剰 → 問6へ

問5 問4で「大いに不足している」「不足している」「やや不足している」と回答された方にお尋ねします。その要因は何だと思われますか。

最もあてはまるもの1つに○をしてください。

- 1. 採用が困難なため 2. 離職率が高い(定着率が低い)ため
- 3. 事業拡大により必要人数が増大したため
- 4. その他( )

問6 貴事業所の従業者について、平成30年1月1日から平成30年12月31日まで の採用者数をご記入ください。

TOUTE		非正規職員			
職種	正規職員	常勤労働者	短時間労働者		
介護職員					
介護職員以外					

問7 貴事業所の従業者について、平成30年1月1日から平成30年12月31日まで の離職者数及びその離職者の勤続年数をご記入ください。

	正規職員			非正規職員		
職種	1年未満	1年以上	3年以上	1年未満	1年以上	3年以上
		3年未満			3年未満	
介護職員						
介護職員以外						

問8 貴事業所における人件費の占める割合は次のうちどれですか。 あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1.30%未満
- 2.30%以上~60%未満
- 3.60%以上~80%未満 4.80%以上
- 問9 貴事業所の収支状況についてお答えください。 あてはまるもの1つに○をしてください。

問9-1 貴事業所における1年前の同時期と比較した現在の収支状況のうちあてはま るものはどれですか。

1. 増収 2. 増減なし 3. 減収

問9-2 貴事業所における今後の収支見込みについてお答えください。

1. 増収 2. 増減なし 3. 減収

- 問10 貴事業所において、経営効率化のために実施した方策は次のうちどれですか。 あてはまるものすべてに○をしてください。
- 1. 実施していない 2. サービス事業の種類を増やした 3. 保険外サービスを増やした
- 4. 営業地域を拡張した 5. 営業地域を縮小した 6. 人件費総額を圧縮した
- 7. 利用者を要介護度の高い者に絞り込んだ 8. 予防給付サービス事業を実施しない
- 9. 新規に夜間対応を始めた 10. 一部の指定介護サービス事業を廃止(休止)した
- 11. その他(
- 3 貴事業所の教育・研修実施状況についてお伺いします。
- 問11 貴事業所における教育・研修の取組で実施しているものについてお答えください。 あてはまるものすべてに○をしてください。
- 1. 教育・研修の計画策定 2. 先輩職員による指導 3. 上司による定期個別面談
- 4. 職場内研修会・勉強会 5. 外部研修会・勉強会への派遣 6. 職員の腰痛予防対策
- 7. 安全対策(事故時の応急措置等) 8. 虐待防止・人権問題
- 9. その他(
- 10. いずれも行っていない
- 問12 貴事業所の教育・研修の取組の状況についてお答えください。 あてはまるもの1つに○をしてください。
- 1. 大いに充実している 2. 充実している 3. やや不足している 4. 不足している
- 4 貴事業所の人材確保策についてお伺いします。
- 問13 貴事業所における人材確保の状況についてお答えください。 <u>あてはまるもの1</u> つに○をしてください。
- 1. 困難である 2. やや困難である → 問14へ
- 3. あまり困難ではない 4. 全く困難ではない → 問15へ
- 問14 問13で「困難である」、「やや困難である」と答えた方にお尋ねします。 人材確保が困難な要因についてお答えください。あてはまるものすべて○をしてください。
- 1. 同業他社との人材獲得競争が激しい 2. 他産業に比べて労働条件が良くない
- 3. 景気が良いため介護業界へ人材が集まらない 4. わからない
- 5. その他( )

#### 問 1 5 貴事業所における離職の要因は主に何だと考えますか。 あてはまるものすべて○をしてください。

- 1. 賃金水準に満足できない 2. 職場での職員間の人間関係
- 3. 労働時間、休日等の条件に満足できない 4. 職場の方針と自分の考えが合わない
- 5. 体力的についていけない等の健康問題 6. 家庭の事情や個人的な事情
- 7. 自分がやりたい仕事ではない 8. 利用者や利用者家族との人間関係

9.	その他(	)
		•

### 問16 貴事業所において取り組んでいる人材確保策についてお答えください。<u>取り組ん</u>でいるものに○をして、その効果についてお答えください。

	取組	取組の効果			
人材確保策		効果的	効果的	効果は	
			でない	わからない	
PR 等、事業所の情報発信を行っている					
インターンシップを導入している					
学校等教育機関を訪問し求人活動を行っている					
教育・研修計画を立てて内部・外部研修に積極的					
に参加させている					
採用時の教育・研修を充実させている					
教育・研修の責任者(兼務を含む)を決めている					
職員に後輩の育成経験を持たせている					
法人全体で連携して育成に取り組んでいる					
地域の同業他社と協力、ノウハウを共有して育成					
に取り組んでいる					
賃金体系の見直しを行っている					
能力の向上が認められたものは、配置や処遇に反					
映している					
その他( )					

## 問17 貴事業所における早期離職防止や定着促進のために取組んでいる方策についてお答えください。取り組んでいるものに○をして、その効果についてお答えください。

	取組	取組の効果			
早期離職防止、定着促進策		ᅓᄪᄵ	効果的	効果は	
		効果的	でない	わからない	
本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条					
件の改善に取り組んでいる					
非正規職員から正規職員への転換の機会を設け					
ている					
能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映					
している					
悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている					
賃金水準を向上させている					
業務改善や ICT 導入など効率化等による働きや					
すい職場づくりに力を入れている					
資格取得支援を奨励している(実習日等の勤務調					
整、取得費用の助成など)					
職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化					
を図っている (定期的なミーティングなど)					
福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている					
職場環境を整えている(休憩室など)					
子育て支援を行っている					
その他( )					

問18 人材確保策として行政に期待することは何ですか。	
(50字以内でご記入ください。)	

- 5 外国人雇用についてお伺いします。
- 問19 貴事業所における外国人労働者の雇用についてお答えください。 あてはまるもの1つに○をしてください。
- 1. 雇用していない → 問20へ 2. 雇用している → 問21へ
- 問20 問19で外国人を「雇用していない」と答えた方について、今後の外国人労働者雇用の意向についてお答えください。あてはまるもの1つに○をしてください。
- 1. 雇用したい 2. 雇用する予定はない 3. わからない
- 問21 外国人労働者を雇用する上でのメリットについてお答えください。

(外国人雇用の有無にかかわらず、あてはまるものすべてに○をしてください。)

1. 労働力を確保できる 2. 社内環境が活性化できる 3. 異なる視点からの発想を得られる 4. 人件費を抑制できる 5. わからない

6. その他(

問22 外国人労働者を雇用する上での課題や不安についてお答えください。

(外国人雇用の有無にかかわらず、あてはまるものすべてに○をしてください。)

- 1. 利用者との会話等での意志疎通 2. 日本語読解力、文章力の不足等による介護記録作成への支障 3. 日本人職員との会話等における意志疎通 4. 生活習慣等の違いによる日常業務への支障 5. 受入方法や活用方法への不安 6. 人件費以外のコスト
- 7. わからない 8. その他( )
- 9. 課題はない
- 6 益田市の施策についてお伺いします。
- 問23 「ますだ子育て応援宣言企業」についてご存知ですか。 あてはまるもの1つに○をしてください。
- 1. 登録している 2. 知っているが登録はしていない 2. 聞いたことはある
- 4. 全く知らない
- 問24 「益田市UIターンサポート宣言企業」についてご存知ですか。 あてはまるもの1つに○をしてください。
- 1. 登録している 2. 知っているが登録はしていない 2. 聞いたことはある
- 4. 全く知らない

### 問25 「益田市サイクリスト誘客協力宣言企業」についてご存知ですか。 あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1. 登録している 2. 知っているが登録はしていない 2. 聞いたことはある
- 4. 全く知らない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。